

2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社プロネクサス

コード番号 7893 URL <https://www.pronexus.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 剛史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 高松 純 TEL 03-5777-3111

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (決算説明動画(録画)配信予定)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	15,398	7.0	2,881	8.7	2,957	4.7	2,035	3.8	2,032	3.9	2,464	16.3
2021年3月期第2四半期	14,390	2.2	2,651	△1.8	2,825	3.5	1,960	4.6	1,956	4.5	2,119	8.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	77.56	—
2021年3月期第2四半期	72.66	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	37,099	24,275	24,245	65.4
2021年3月期	36,337	23,452	23,423	64.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	17.00	—	16.00	33.00
2022年3月期	—	16.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 2021年3月期第2四半期末配当金17円00銭は、普通配当15円00銭と創業90周年記念配当2円00銭の合計額です。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	2.0	2,200	3.3	2,200	△12.1	1,520	△10.4	1,520	△10.1	58.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	27,716,688株	2021年3月期	28,716,688株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,207,421株	2021年3月期	2,031,321株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	26,200,577株	2021年3月期2Q	26,919,460株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、第2四半期及び期末の決算説明会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、また現在多くの方が在宅勤務等を実施されていると想定されることから、会場での開催を見合わせ、後日、決算に関する説明動画（録画）の配信を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① わが国経済の状況

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業業績や設備投資は持ち直しの動きがみられる一方で、個人消費や雇用情勢は弱い動きとなっており、依然として厳しい状況が継続しております。

一方、当社事業と関連性が強い国内証券市場においては、昨年4月に一時18,000円台を割った日経平均株価は、経済活動の再開に伴い徐々に回復し、当第2四半期は28,000円台を中心に推移いたしました。

② 業績の概況

当第2四半期は、本年6月に改訂されたコーポレートガバナンス・コードを背景として、投資家への情報提供をさらに強化する動きが高まったことや、前年同期に比べて国内証券市場やJ-REIT市場が回復したことに伴い、ファイナンス・IPOが増加したこと等から、関連製品の受注が増加しました。この結果、当第2四半期の連結売上収益は、前年同期比1,008百万円増（同7.0%増）の15,398百万円となりました。

利益面では、外注費及び体制強化に伴う労務費・人件費が増加する一方、経費の抑制に努めたことで、営業利益は前年同期比230百万円増（同8.7%増）の2,881百万円となりました。また、税引前四半期利益は前年同期比132百万円増（同4.7%増）の2,957百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比76百万円増（同3.9%増）の2,032百万円となりました。

1) 製品別の販売動向

<上場会社ディスクロージャー関連>

主力製品である株主総会招集通知については、従来からのカラー化・情報拡充に加え、個人株主数の増加により受注単価が上昇しました。また、業務効率化ニーズの高まりを受け、開示書類作成アウトソーシングサービスの増収が寄与したほか、国内証券市場の回復に伴い、ファイナンス・IPO関連製品の受注も拡大いたしました。これらの結果、上場会社ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比272百万円増（同3.9%増）の7,218百万円となりました。

<上場会社IR関連等>

改訂コーポレートガバナンス・コードへの対応を背景として、英文翻訳サービスの受注が増加するとともに、前年同期はコロナ禍により規模を縮小していた株主総会のビジュアル化サービスや、バーチャル株主総会支援サービスの受注が増加しました。これらの結果、上場会社IR関連等の売上収益は、前年同期比464百万円増（同12.8%増）の4,080百万円となりました。

<金融商品ディスクロージャー関連>

J-REIT市場が今年に入り上昇基調にあることから、ファイナンス・IPOが増加したことに加え、外国債券の発行が前年同期に比べて改善したことで、関連製品の受注が増加しました。また、金融機関向けの各種販促ツールの新規受注が増加したこと等から、金融商品ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比283百万円増（同8.6%増）の3,566百万円となりました。

<データベース関連>

データベース関連では新規顧客の受注があったものの、既存顧客との契約更改に際し、一部解約や単価ダウンがありました。その結果、データベース関連の売上収益は、前年同期比11百万円減（同2.0%減）の534百万円となりました。

なお、グループシナジーを最大化すべく、当社のデータベース事業を簡易吸収分割により連結子会社である株式会社アイ・エヌ情報センターに承継（2021年5月）させ、データベース事業の再編を実施いたしました。

(製品区分別売上収益)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		増減 (△印減)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
上場会社ディスクロージャー関連	6,945,794	48.3	7,217,812	46.9	272,018	3.9
上場会社IR関連等	3,616,323	25.1	4,080,268	26.5	463,945	12.8
金融商品ディスクロージャー関連	3,283,019	22.8	3,566,298	23.1	283,279	8.6
データベース関連	544,771	3.8	533,861	3.5	△10,910	△2.0
合計	14,389,907	100.0	15,398,239	100.0	1,008,332	7.0

(注) 金額は販売価格によっております。

2) 利益の概況

当第2四半期の売上収益は、データベース関連を除く各製品区分において前年同期を上回り、1,008百万円の増加となりました。売上原価は、受注増に対応する外注費の増加や制作体制の強化による労務費の増加を主因として、590百万円増加いたしました。これにより売上原価率は前年同期同様57.3%となりました。この結果、売上総利益は前年同期比418百万円増(同6.8%増)の6,568百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は営業体制強化に伴う人件費増加等により、前年同期比160百万円増(同4.5%増)の3,695百万円となったものの、経費の抑制に努めたこと等により、販売費及び一般管理費率は前年同期比0.6ポイント減の24.0%となりました。これらの結果、営業利益は前年同期比230百万円増(同8.7%増)の2,881百万円となりました。

また、金融収益を54百万円、金融費用を3百万円、持分法による投資利益を26百万円それぞれ計上し、税引前四半期利益は前年同期比132百万円増(同4.7%増)の2,957百万円となりました。なお、前年同期の税引前四半期利益は、持分法適用関連会社であった株式会社ディスクロージャー・プロの株式を2020年7月に追加取得し、完全子会社化したことに伴う段階取得に係る差益を139百万円計上しております。その結果、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比76百万円増(同3.9%増)の2,032百万円となりました。

③ 第2四半期の季節性

当社グループの売上収益の約3分の2を占める事業会社向け製品・サービスは、顧客の約65%が3月決算会社であるため、決算及び株主総会関連製品の受注が第1四半期連結会計期間(4-6月期)に集中します。このため、下表のとおり第1四半期連結会計期間の売上収益が約4割を占め、第2四半期連結会計期間(7-9月期)の売上収益は2割以下にとどまります。

(参考) 2021年3月期

	第1四半期 (4-6月期)	第2四半期 (7-9月期)	第3四半期 (10-12月期)	第4四半期 (1-3月期)	年度計
売上収益 (百万円)	9,435	4,955	5,312	5,295	24,997
構成比 (%)	37.7	19.8	21.3	21.2	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ762百万円増加し37,099百万円となりました。主な要因は、現金及び現金同等物の増加1,190百万円、営業債権及びその他の債権の減少587百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ61百万円減少し12,824百万円となりました。主な要因は、営業債務及びその他の債務の減少646百万円、契約負債の増加703百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ822百万円増加し24,275百万円となりました。主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益2,032百万円の計上による増加、自己株式の取得1,215百万円による減少等であります。この結果、親会社所有者帰属持分比率は、65.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

<当期の見通し>

2021年5月14日公表の2022年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	12,845,107	14,035,342
営業債権及びその他の債権	2,585,575	1,998,728
その他の金融資産	1,733,522	1,747,540
棚卸資産	573,928	516,124
その他の流動資産	286,949	294,209
流動資産合計	18,025,083	18,591,942
非流動資産		
有形固定資産	4,675,332	4,528,147
使用権資産	3,796,143	3,642,690
のれん	466,875	468,723
無形資産	2,530,475	2,620,103
投資不動産	186,322	186,322
持分法で会計処理されている投資	763,050	769,789
その他の金融資産	4,933,152	5,640,758
繰延税金資産	918,943	617,843
その他の非流動資産	41,529	32,281
非流動資産合計	18,311,822	18,506,658
資産合計	36,336,904	37,098,600
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	56,672	104,988
リース負債	824,803	853,358
営業債務及びその他の債務	1,531,750	885,640
未払法人所得税等	465,438	762,516
契約負債	674,124	1,377,553
その他の流動負債	2,751,141	2,488,743
流動負債合計	6,303,927	6,472,799
非流動負債		
借入金	301,652	300,000
リース負債	3,106,445	2,913,451
退職給付に係る負債	2,523,647	2,495,545
引当金	191,390	189,270
その他の非流動負債	457,429	452,875
非流動負債合計	6,580,563	6,351,142
負債合計	12,884,490	12,823,941
資本		
資本金	3,058,651	3,058,651
資本剰余金	4,691,776	4,694,634
自己株式	△2,082,303	△2,269,362
その他の資本の構成要素	721,958	1,151,242
利益剰余金	17,032,541	17,609,557
親会社の所有者に帰属する持分合計	23,422,622	24,244,721
非支配持分	29,792	29,939
資本合計	23,452,414	24,274,660
負債及び資本合計	36,336,904	37,098,600

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	14,389,907	15,398,239
売上原価	△8,239,929	△8,829,815
売上総利益	6,149,978	6,568,424
販売費及び一般管理費	△3,534,377	△3,694,744
その他の収益	40,661	38,458
その他の費用	△5,462	△31,355
営業利益	2,650,800	2,880,782
金融収益	28,543	53,803
金融費用	△4,502	△3,494
持分法による投資利益	10,924	25,556
段階取得に係る再測定による利益	139,122	—
税引前四半期利益	2,824,886	2,956,647
法人所得税費用	△864,782	△921,602
四半期利益	1,960,104	2,035,045
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,956,084	2,032,042
非支配持分	4,020	3,003
四半期利益	1,960,104	2,035,045
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	72.66	77.56
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	1,960,104	2,035,045
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	155,472	418,737
純損益に振り替えられることのない項目合計	155,472	418,737
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	3,110	10,548
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	3,110	10,548
税引後その他の包括利益	158,582	429,286
四半期包括利益	2,118,686	2,464,330
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,114,666	2,461,326
非支配持分	4,020	3,005
四半期包括利益	2,118,686	2,464,330

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計
2020年4月1日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,143	△14,370	362,561	348,191
四半期利益						—
その他の包括利益				3,110	155,472	158,582
四半期包括利益合計	—	—	—	3,110	155,472	158,582
自己株式の取得			△189			—
配当金						—
所有者との取引額合計	—	—	△189	—	—	—
2020年9月30日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,332	△11,260	518,033	506,773

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
2020年4月1日時点の残高	18,162,035	22,451,330	54,911	22,506,241
四半期利益	1,956,084	1,956,084	4,020	1,960,104
その他の包括利益		158,582	0	158,582
四半期包括利益合計	1,956,084	2,114,666	4,020	2,118,686
自己株式の取得		△189		△189
配当金	△403,793	△403,793		△403,793
所有者との取引額合計	△403,793	△403,982	—	△403,982
2020年9月30日時点の残高	19,714,325	24,162,013	58,932	24,220,945

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計
2021年4月1日時点の残高	3,058,651	4,691,776	△2,082,303	6,681	715,277	721,958
四半期利益						—
その他の包括利益				10,547	418,737	429,284
四半期包括利益合計	—	—	—	10,547	418,737	429,284
自己株式の取得			△1,215,119			—
自己株式の消却			1,028,060			—
配当金						—
支配継続子会社に対する持分変動		2,858				—
所有者との取引額合計	—	2,858	△187,059	—	—	—
2021年9月30日時点の残高	3,058,651	4,694,634	△2,269,362	17,228	1,134,014	1,151,242

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
2021年4月1日時点の残高	17,032,541	23,422,622	29,792	23,452,414
四半期利益	2,032,042	2,032,042	3,003	2,035,045
その他の包括利益		429,284	1	429,286
四半期包括利益合計	2,032,042	2,461,326	3,005	2,464,330
自己株式の取得		△1,215,119		△1,215,119
自己株式の消却	△1,028,060	—		—
配当金	△426,966	△426,966		△426,966
支配継続子会社に対する持分変動		2,858	△2,858	—
所有者との取引額合計	△1,455,026	△1,639,227	△2,858	△1,642,085
2021年9月30日時点の残高	17,609,557	24,244,721	29,939	24,274,660

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。